

とろろこんぶシステム工房

日付印ぺったん フリー版 Ver1.5.0

電子でぺったん

第4版

2018-08-17

とろろこんぶ電子印鑑

<http://www.tororokonbu.jp/>

目次

	ページ
1. はじめに	2
1-1. 「日付印ぺったんフリー版 電子でぺったん」と「日付印ぺったん」の違い	
1-2. 動作環境	
2. インストール	3
2-1. インストール	
2-2. Excel/Word 押印メニュー	
2-3. アンインストール	
3. 押印	12
3-1. 日付印ぺったんオブジェクトの挿入	
3-2. 押印ダイアログ	
4. 押印情報の確認	18
5. 未押印オブジェクトの挿入	19
6. クリップボード転写	20
Appendix A レジストリに登録される日付印ぺったんオブジェクト	21

日付印ぺったんフリーソフト版 「電子でぺったん」は日付印ぺったんからセキュリティ機能を省き、インストール/設定を大幅に簡素化したバージョンです。

このマニュアルはとろろこんぶ電子印鑑「日付印ペったんフリー版 電子でペったん」のインストール方法及び操作方法を記述したマニュアルです。
このマニュアルに従って実際に操作することにより、「日付印ペったんフリー版 電子でペったん」の標準的な使用法をマスターすることができます。

1. はじめに

日付印ペったんフリー版電子でペったんは日付印ペったんのサブセットです。電子的に日付印（会社でよく使うあの3段で日付が中段にあるはんこ）を押印し、パソコン上で電子的に決済をするソフトウェアです。



このソフトウェアではOLEというテクノロジーを使って、日付印をデータに埋め込みます。例えば、ワードや一太郎などのOLE対応のワープロソフトには、オブジェクトの挿入という機能が用意されていますが、それを使って日付印ペったんのオブジェクトを文書中に埋め込むことができます。

1-1. 「日付印ペったんフリー版 電子でペったん」と「日付印ペったん」の違い

電子でペったんは日付印ペったんからセキュリティー機能を省き、インストール/設定作業を大幅に簡素化したバージョンです。セキュリティーがありませんので企業内で用いるには問題があるかもしれませんが、個人的に用いるには十分な機能です。

機能	日付印ペったんフリー版	日付印ペったん
パスワードによるセキュリティー	なし	あり
押印ログファイル出力	出力不可	出力可
押印登録	1名のみ	複数名
文字数制限	制限なし。	制限なし。
文字フォント変更	可能	可能
文字位置変更	不可	可能
上段	1段のみ	1段または2段

日付印ペったんについての詳細は次のサイトを参照してください。

<http://www.tororokonbu.jp/pettan.html>

1-2. 動作環境

このソフトウェアは次のOS上で動作します。

- Windows 10
- Windows 8
- Windows 7

2. インストール

インターネット上からダウンロードなどして入手した場合はファイル名が pettan_free****.zip になっています。圧縮ファイルですので解凍してください。インストーラ setup_pettan_free_XXXX.exe が解凍されます。

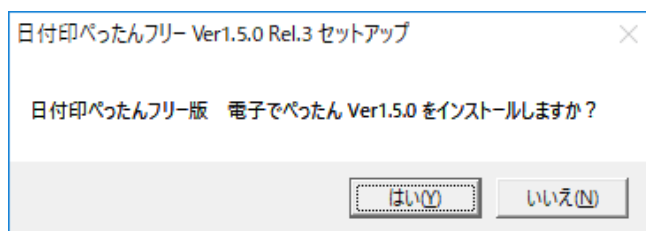


電子でぺったんのインストーラ setup_pettan_free_XXXX.exe は管理権限を要求します。

2-1. インストール

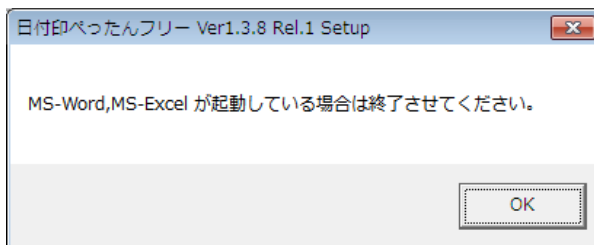
手順0) 管理権限のあるユーザで Windows にログインします。
Excel/Word が起動している場合は終了させてください。

手順1) setup_pettan_free_XXXX.exe をエクスプローラ上でダブルクリックするなどして実行します。
インストーラを起動すると確認のメッセージが表示されますのでボタン「はい」をクリックします。

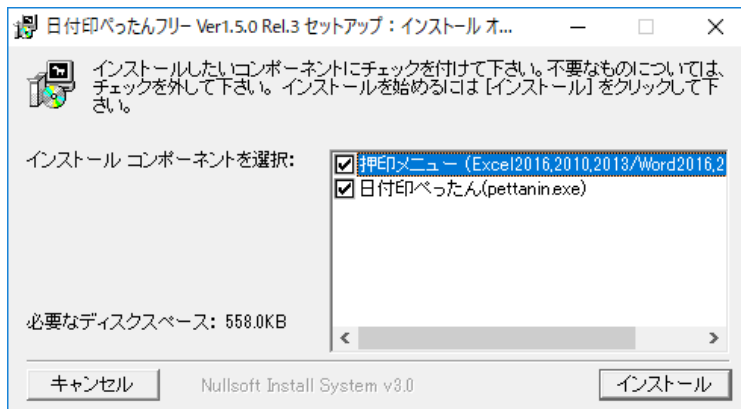


MS-WORD,MS-EXCEL が起動されている場合は終了させてください。

起動していると正常に押印メニューが WORD,EXCEL に追加されない場合があります。



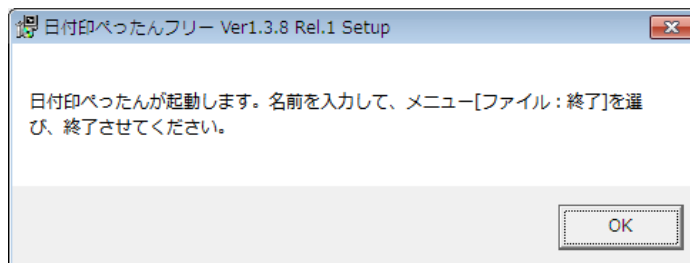
インストールするモジュールを選択します。



押印メニュー	Excel2016/2013/2010 および Word2016/2013/2010 用の押印メニューアドインです。Office2007 以前のバージョン で用いる場合は選択しないでください。
日付印ペったん(pettanin.exe)	日付印ペったんです。必須ですので選択してください。

インストール実行後、自動的に日付印ペったんの実行モジュール pettanin.exe が起動します。

日付印ペったん pettanin.exe は必要な情報をレジストリに書きこみます。

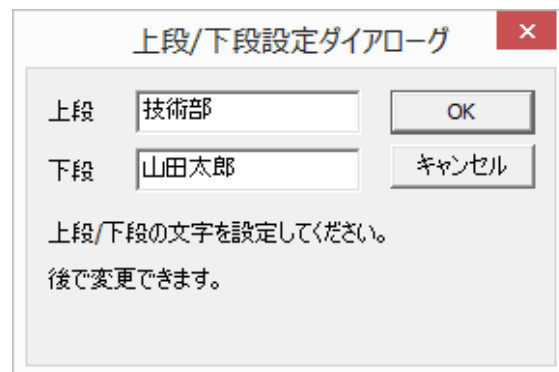


日付印ペったんフリー版を初めてインストールした場合は名前の入力ダイアログが開きます。

日付印として設定する所属名や名前を入力してください。

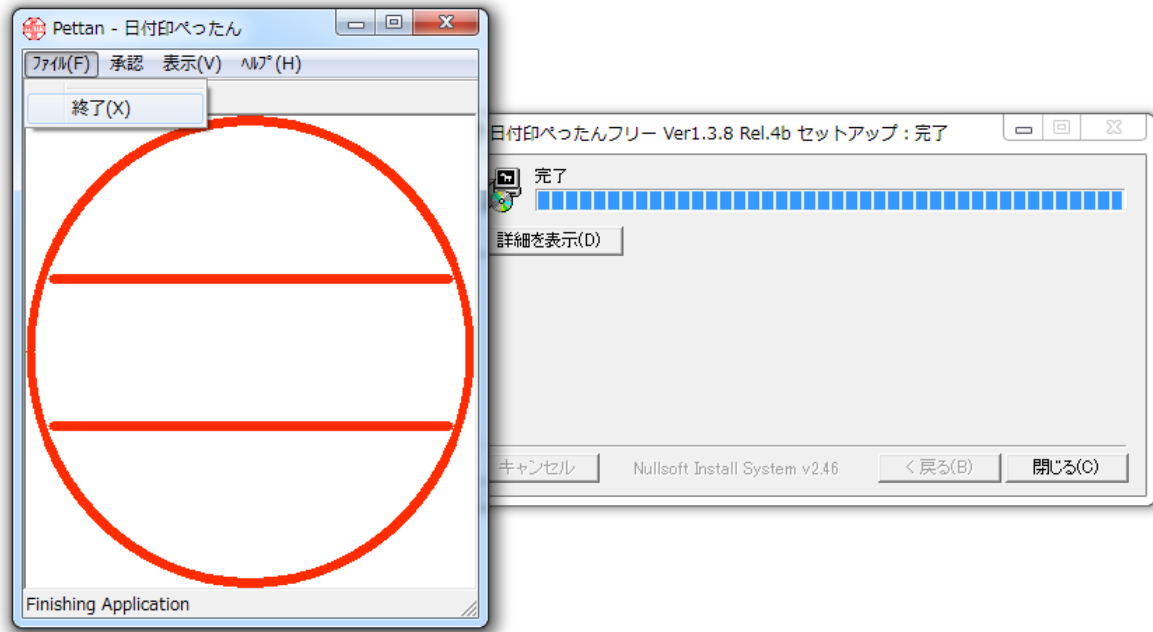


この例では 技術部/山田太郎 と入力していますが、任意の所属/名前などを入力してください。



日付印ペったん pettanin.exe が起動します。メニュー[ファイル:終了]を選択し、終了します。

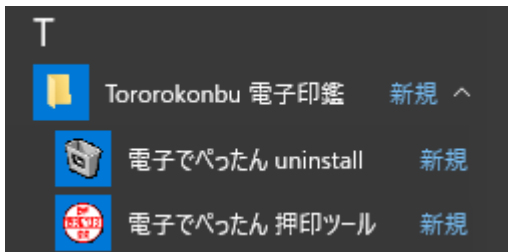
参考) この起動により、日付印ペったんのクラス ID などの情報がレジストリに書き込まれます。なお、レジストリに書き込まれた情報はアンインストールを実行することにより削除されます。



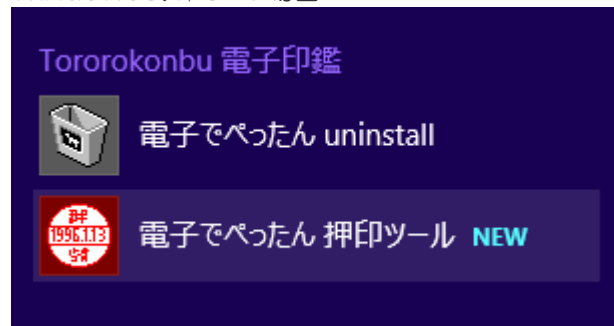
「完了」が表示されればインストールは完了です。
ボタン[閉じる]をクリックしてインストーラを閉じます。

以上でインストールは終了です。
スタートメニューにインストールしたモジュールが登録されていることを確認してください。

Windows10 の場合



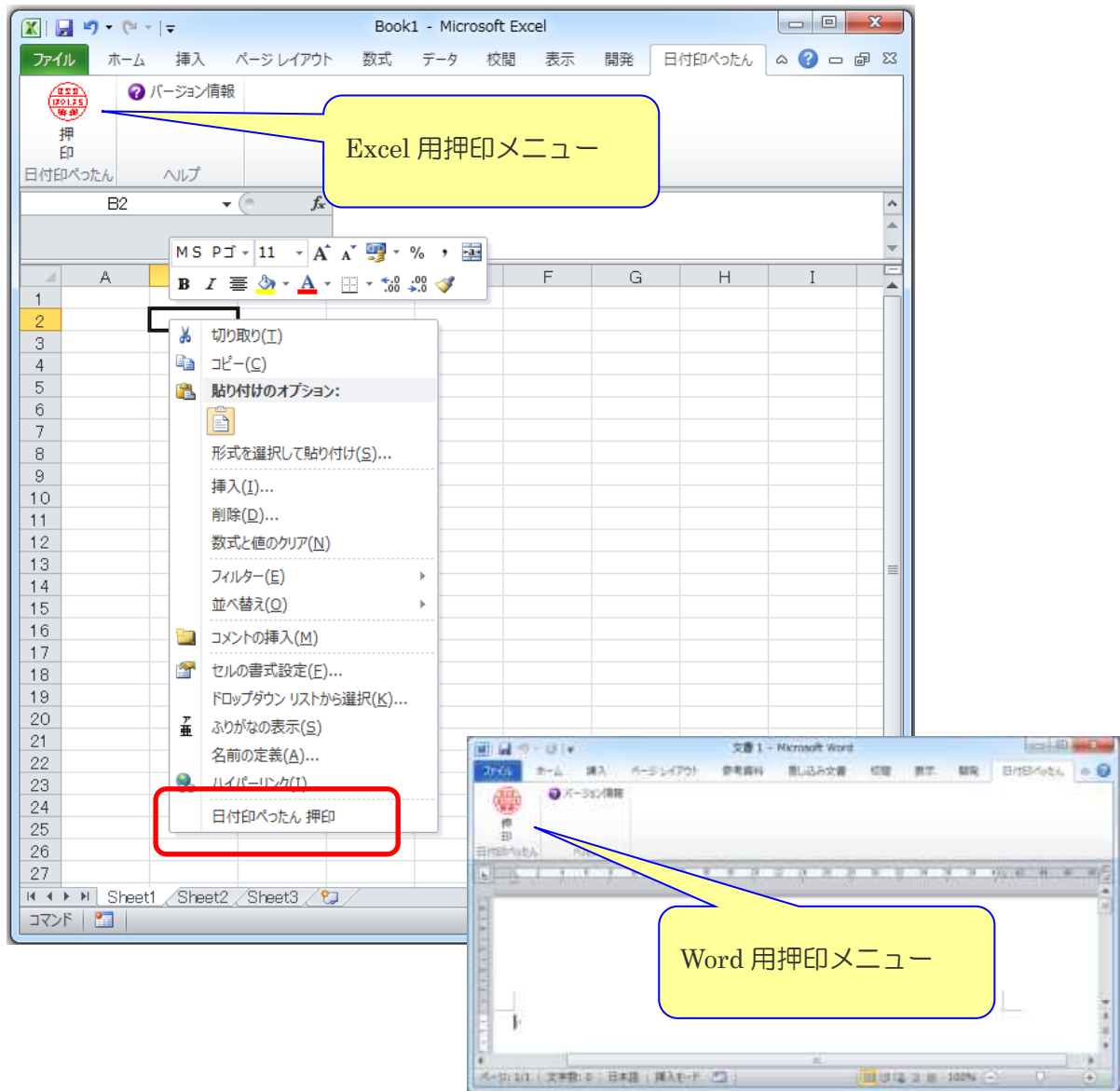
Windows8.1/8 の場合



Windows7 の場合



2-2. Excel/Word 押印メニュー



インストーラで、押印メニュー を選んだ場合は Excelアドインマクロファイル および Word テンプレートファイル が組み込まれています。次のフォルダーに配置されています。

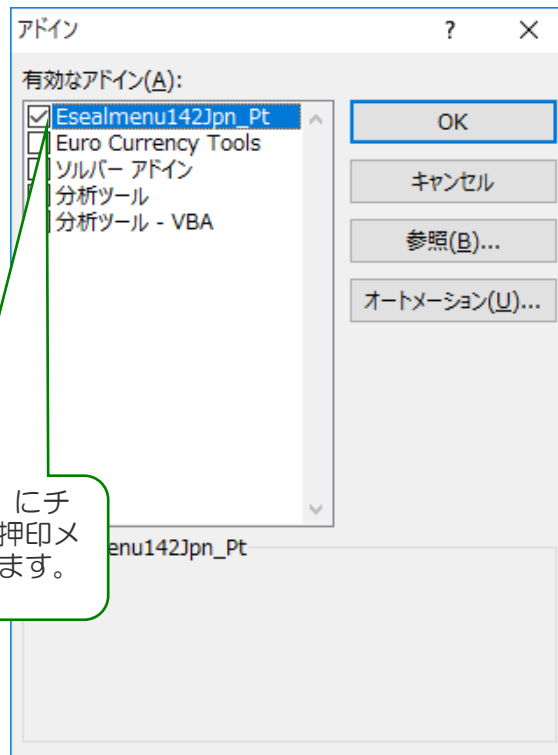
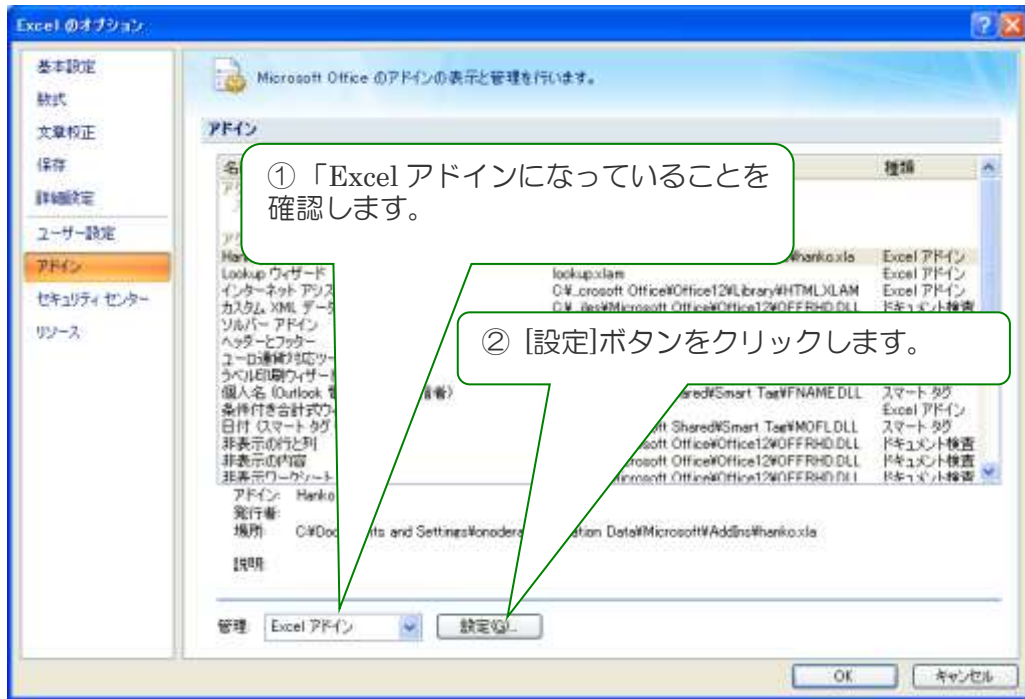
ファイル名	インストール先
Excel アドインマクロ e-SealMenu**_pt.xlam	C:¥ユーザ¥ユーザ名¥AppData¥Roaming¥Microsoft¥AddIns
Word マクロ e-SealMenu**_pt.dotm	C:¥ユーザ¥ユーザ名 ¥AppData¥Roaming¥Microsoft¥Word¥STARTUP

2-2-1. Excel 押印メニューの組み込み

手順1) Excel オプションダイアログを開きます。

Excel アドインを選択し、ボタン[設定]をクリックします。

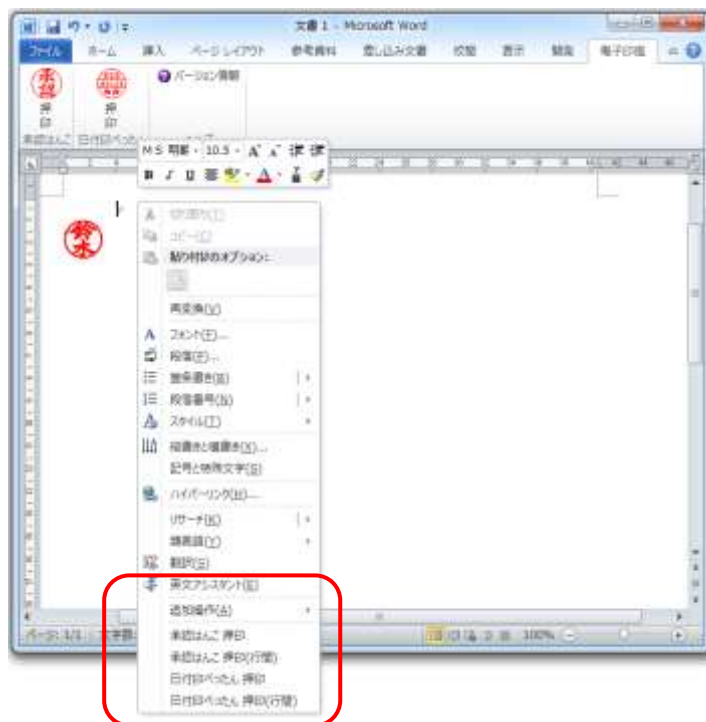
Excel2010 の場合



アドインマクロダイアログを開き、e-sealmenu**_pt にチェックを入れてください。チェックを付けると押印メニューが表示されます。

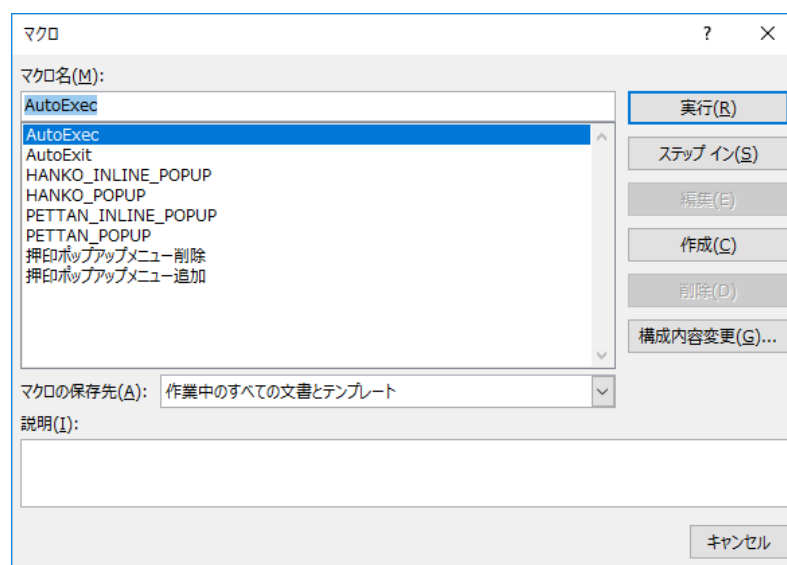
2-3-2. Word 押印メニューの組み込み

ポップアップ押印メニューを表示させることができます。ポップアップ押印メニューがない場合は以下の操作は不要です。



■ ポップアップ押印メニューの表示方法

Word を起動し、タブ「表示」を選択し、「マクロの表示」を選択します。



マクロダイアログが開きますので、「押印ポップアップメニュー追加」を選択し、実行します。

Word を再起動しても、このポップアップ押印メニューは表示されたままになります。

■ ポップアップ押印メニューの削除方法

マクロダイアログ上で、「押印ポップアップメニュー削除」を選択し、実行します。

Exce/Word/PowerPoint 用押印メニューバーについて詳しくは下記ホームページからドキュメントをダウンロードしてご利用ください。

また、Office2007 以前のバージョンで用いる場合も下記サイトから対応する押印メニューアドインをダウンロードしてください。

MS-Word メニューバー

http://www.tororokonbu.jp/office_menubar/word/index.html

MS-Excel メニューバー

http://www.tororokonbu.jp/office_menubar/excel/index.html

MS-PowerPoint メニューバー

http://www.tororokonbu.jp/office_menubar/powerpoint/index.html

2-3. アンインストール

アンインストールは

- ① Excel 押印メニューアドインの組み込み解除
- ② 電子でぺったんのアンインストールの実行の順序で行います。



「アンインストールの実行」の前に、必ず「Excel 押印メニューアドインの組み込み解除」を行います。

参考) WORD 用のマクロについては特に事前に行うことはありません。

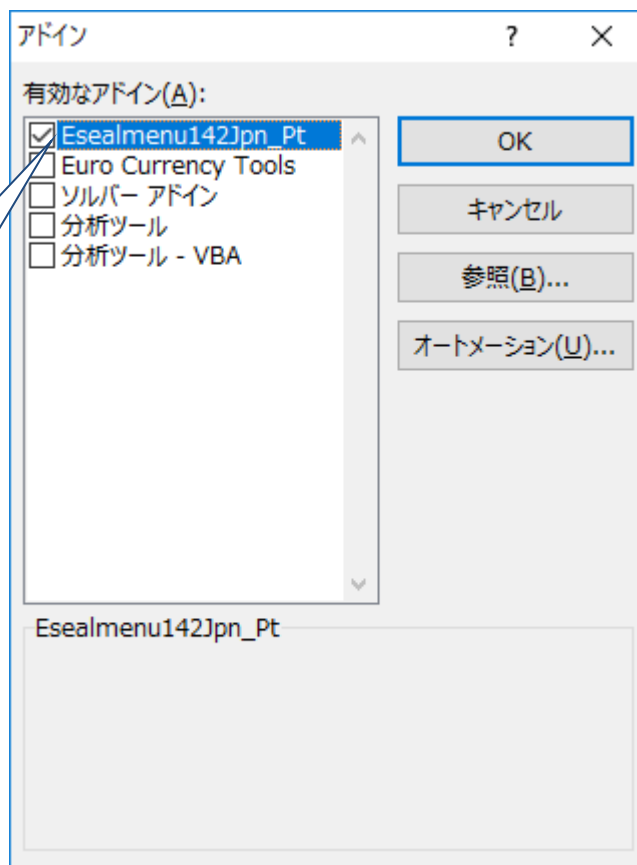
手順 1) Excel 押印メニューアドインの組み込み解除

Excel を起動し、アドインダイアログを表示します。

アドイン E-Sealmenu_pt のチェックをはずし、ボタン[OK]をクリックします。

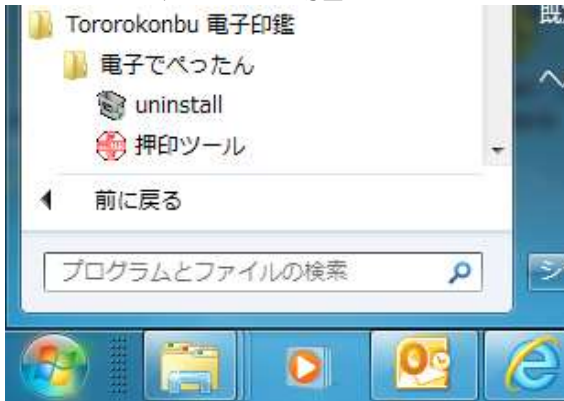
「はんこメニューを削除しました。」と表示されます。

チェックを外します。

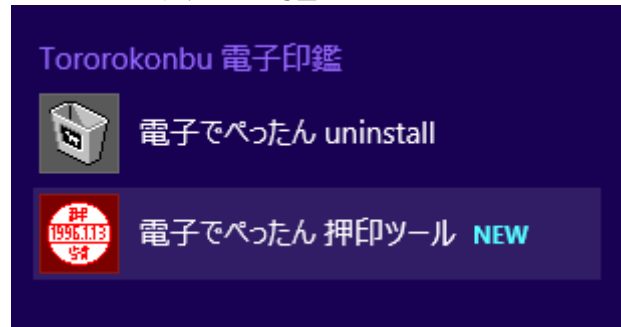


スタートメニューから uninstall を選択するとアンインストーラが起動します。

Windows 7/Vista の場合



Windows 8.1/8 の場合

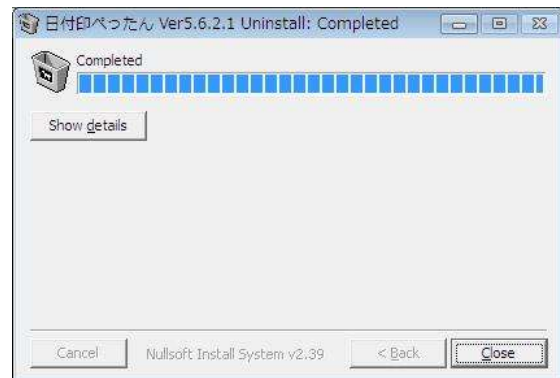


アンインストーラが起動します。ボタン[アンインストール]をクリックするとアンインストールが実行されます。



日付印ぺったんのインストーラがインストールしたファイルおよびレジストリに登録した情報が削除されます。

ボタン[Close]をクリックして終了します。



日付印ぺったんがレジストリに登録する情報については「Appendix A. レジストリに登録される日付印ぺったんオブジェクト」を参照してください。

3. 押印

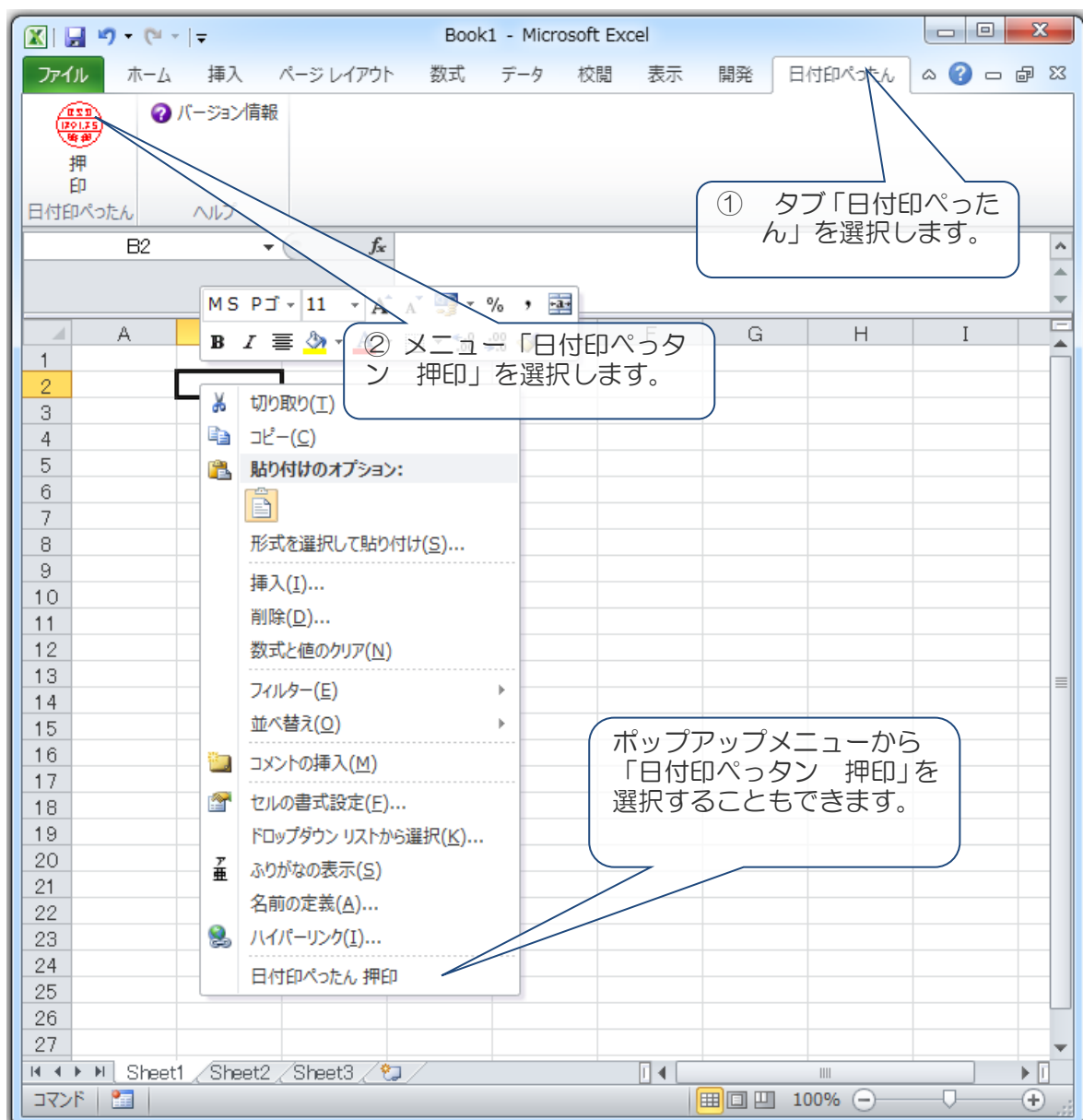
MS-Word や MS-Excel など OLE 対応アプリケーションには OLE オブジェクトの挿入機能があります。電子印鑑「日付印ぺったん」はこの OLE オブジェクトとして挿入されます。

Excel を例に、押印メニューを用いて押印する方法と、押印メニューを用いない方法（手動）について説明いたします。

3-1. 「日付印ぺったん」こオブジェクトの挿入

3-1-1. Excel 押印メニューを用いての Excel への押印

Excel を起動します。

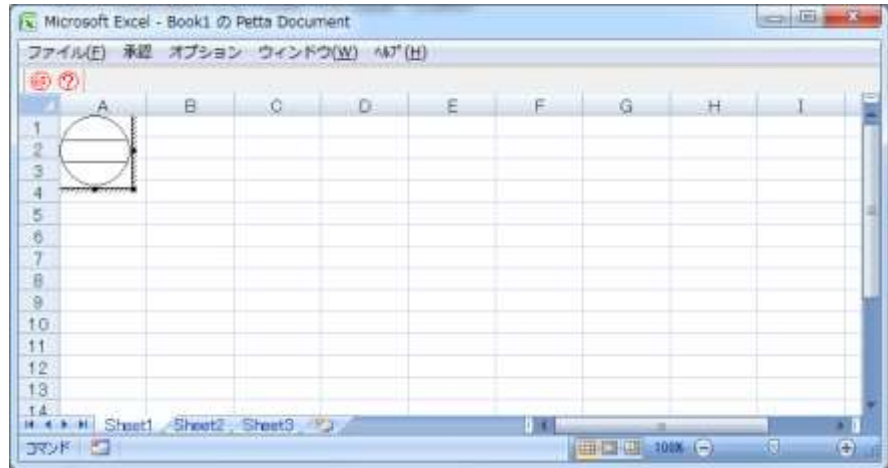


メニュー「承認はんこ 押印」を選択すると押印されます。

「日付印ぺったんオブジェクト」が挿入されます。

日付印ぺったんオブジェクトはアクティブとなっています。

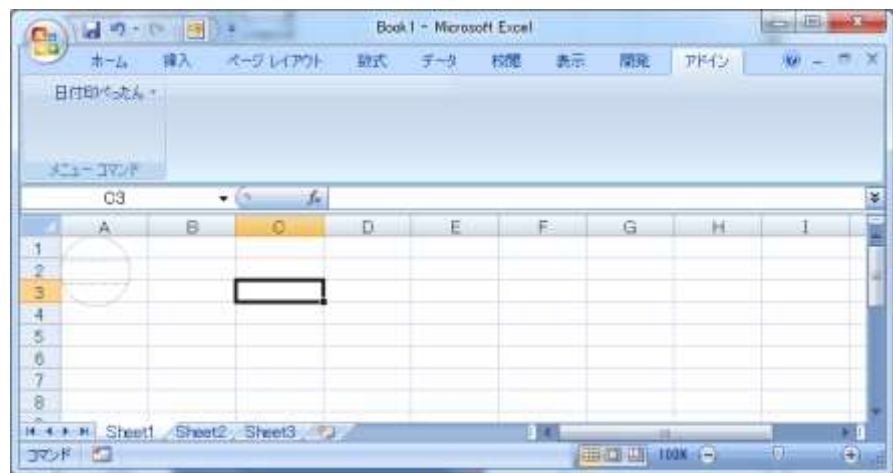
Excel のメニュー、ツールバーが日付印ぺったんのメニューに入れ変わっています。



オブジェクト以外の部分をクリックすればオブジェクトのアクティブな状態は解除されます。

メニューは Excel のメニューに戻っています。

日付印の印影は未押印（押印ダイアログを用いて押印していない状態）のため破線になっています。



3-1-2. 手動での Excel への押印

Excel/Word には押印メニューが用意されていますが、一太郎など押印メニューが用意されていないアプリケーション上で押印する場合は手動で押印します。

Excel を例に説明いたしますが、他の OLE 対応アプリケーションでも操作は殆ど同じになります。

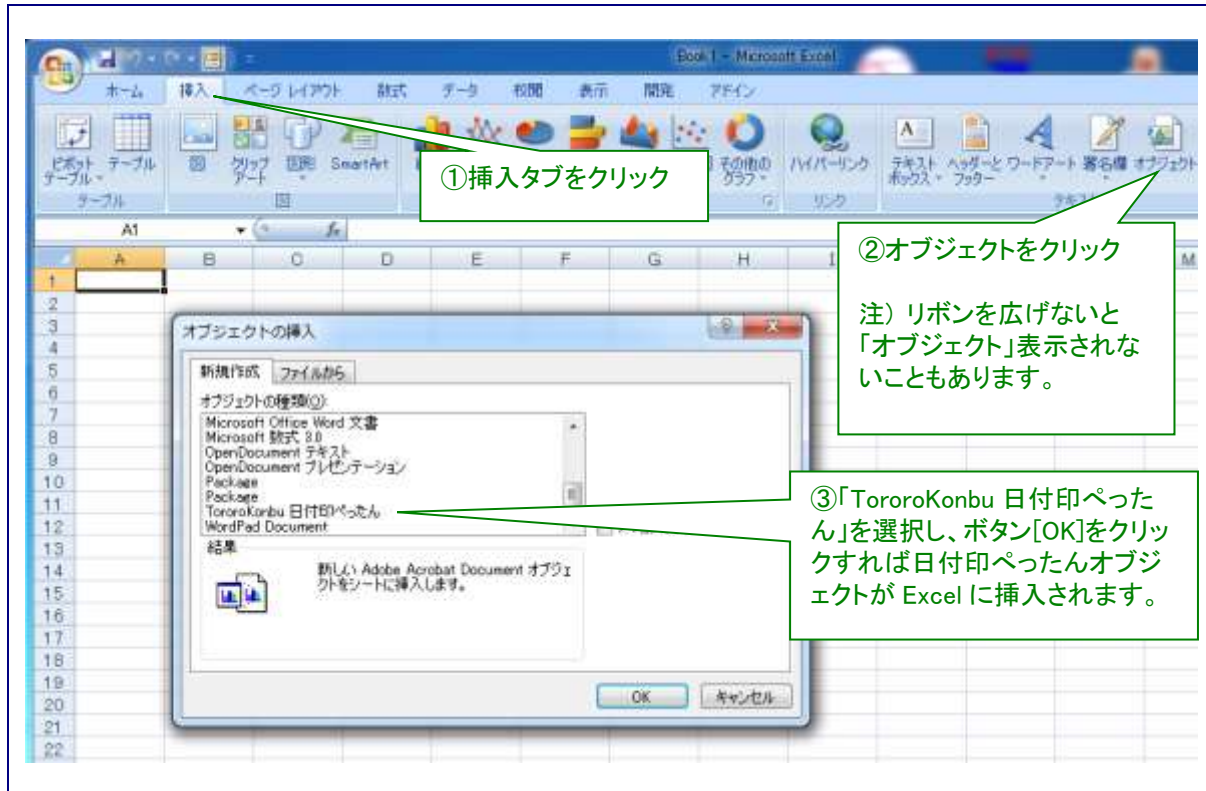


図 3-1 Excel2007 に押印する例。オブジェクトの挿入ダイアログに「TororoKonbu 日付印ぺったん」がリストされていることを確認してください。

MS-Word や MS-Excel など OLE 対応アプリケーションには OLE オブジェクトの挿入機能があります。電子印鑑「日付印ぺったん」はこの OLE オブジェクトとして挿入されます。

MS-Word の場合の「日付印ぺったん」オブジェクトの挿入操作手順は次のようになります。MS-Excel など他の OLE 対応アプリケーションでも操作は殆ど同じです。

手順 1) MS-Word など OLE 対応アプリケーションの文書が開いた状態にします。

手順 2) メニュー「挿入」→「オブジェクト」を選択します。(図 3-1)

手順 3) 「オブジェクトの種類」リストボックスから「日付印ぺったん」あるいは「Tororokonbu Pettan」を選び、OK ボタンをクリックします。(図 3-2)

「ぺったんオブジェクト」が挿入されます。(図 3-3)

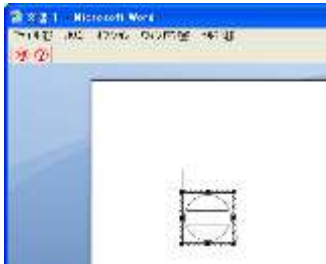


図 3-3 日付印ぺったんオブジェクトが挿入され、アクティブとなっている。メニューが日付印ぺったんのメニューに入れ変わっている。

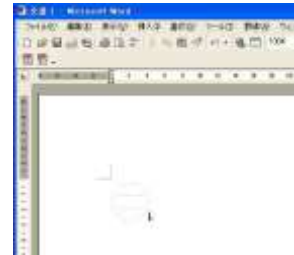

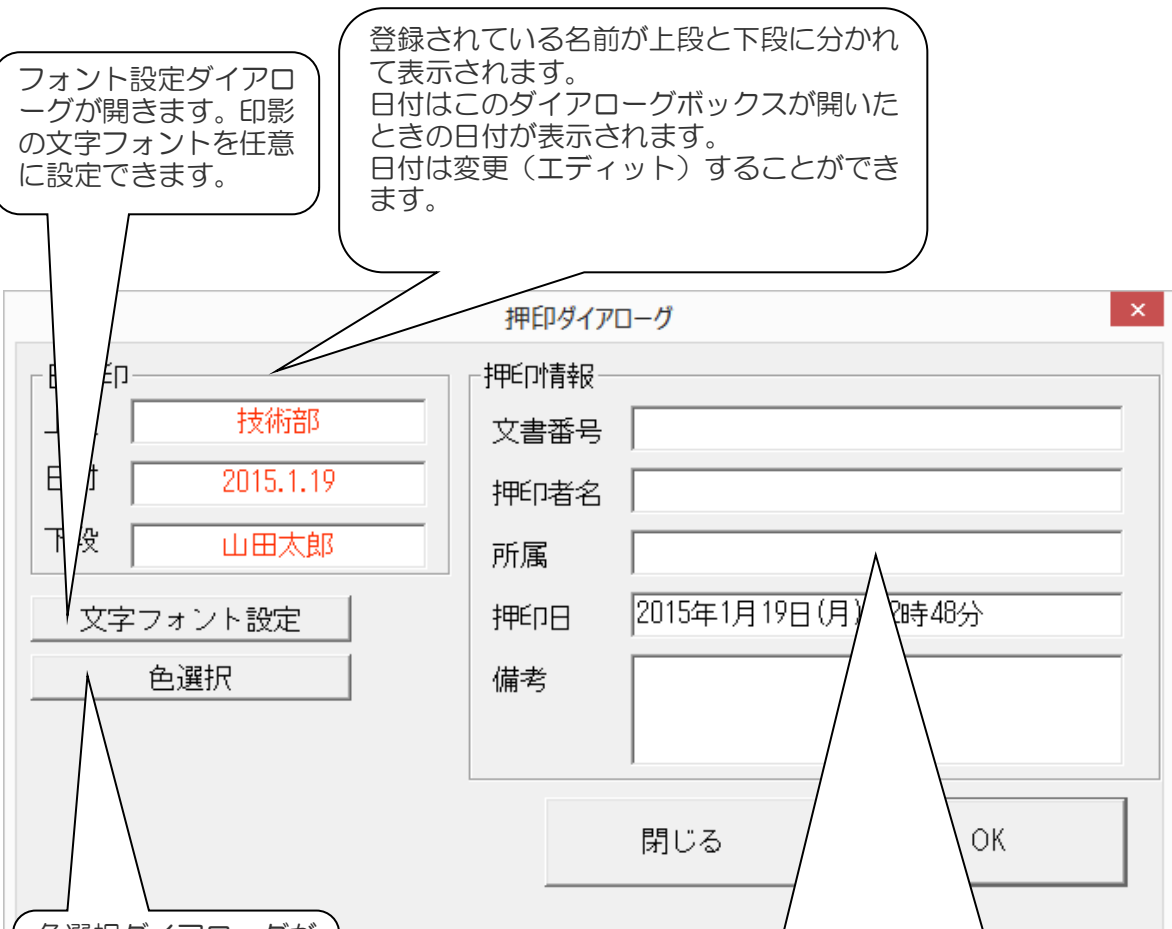


図 3-4 オブジェクト以外の部分をクリックすればオブジェクトがアクティブな状態は解除され、メニューは MS-Word のメニューに戻る。日付印の印影は未押印のため破線になっている。

3-2. 押印ダイアログ

「日付印ぺったん」オブジェクトがアクティブな状態ではメニュー及びツールバーは日付印ぺったんにメニュー/ツールバーに入れ替わっています。

メニュー「承認」->「承認押印」を選択するか、ボタン をクリックすることにより押印ダイアログが表示します。



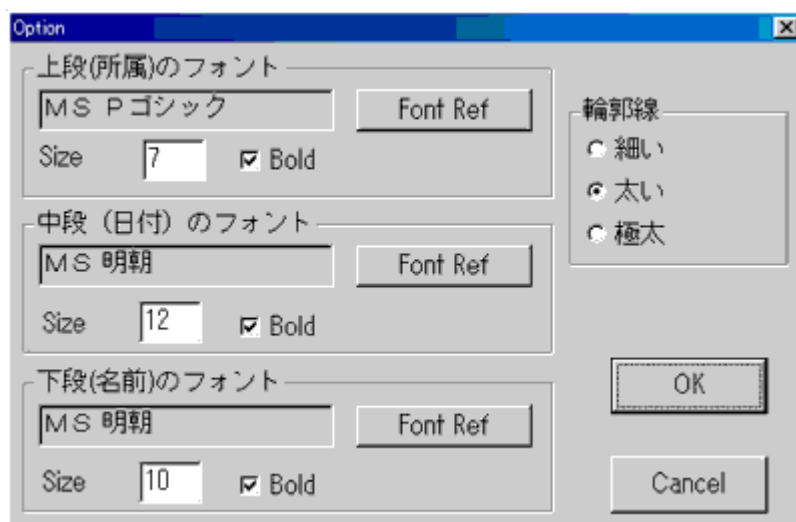
フォント設定ダイアログが開きます。印影の文字フォントを任意に設定できます。

登録されている名前が上段と下段に分かれて表示されます。
日付はこのダイアログボックスが開いたときの日付が表示されます。
日付は変更（エディット）することができます。

色選択ダイアログが開きます。印影の色を任意に設定できます。

文書番号、承認者名、所属、承認日、承認項目を入力することができます。入力されたこれらの情報はぺったんオブジェクト（OLEオブジェクト）に挿入されます。印影自体には表示されません。押印情報確認機能で表示できます。
承認者名、所属、承認項目については、前回承認時に入力したものが表示されます。なお、この承認者名、所属、承認項目は編集（エディット）できます。
承認日にはこのダイアログボックスが開いたときの日付と時刻が表示されます。

フォント設定ダイアログ



押印情報を入力し、OK ボタンをクリックすれば、押印されます。

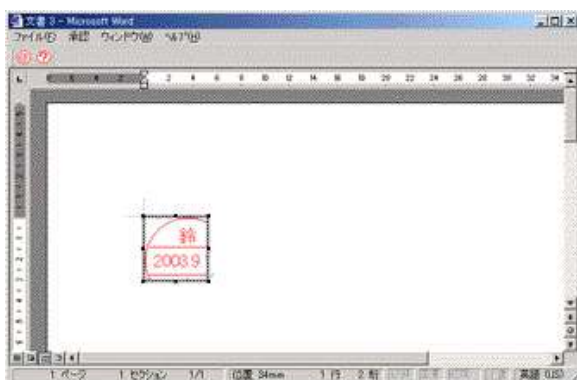


図 3-5 日付印ぺったんオブジェクトがアクティブな状態になっている。

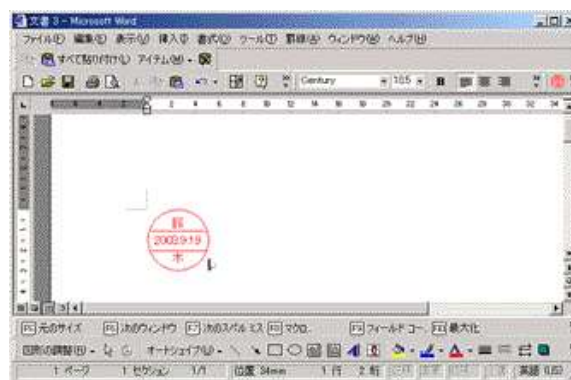


図 3-6 日付印ぺったんオブジェクト以外の部分をクリックすれば、MS-WORD のメニューに戻ります。

日付印ぺったんオブジェクトがアクティブな状態になっていますが、日付印ぺったんオブジェクト以外の部分をクリックすれば、MS-WORD のメニューに戻ります。(図 3-5,3-6)

以上で押印についての説明は終わりです。問題なく押印できましたでしょうか。


注) 文字サイズが小さすぎる場合は、フォントサイズを変更してください。フォントサイズは承認ダイアログ中のオプションボタンをクリックして表示されるオプションダイアログで行ってください。

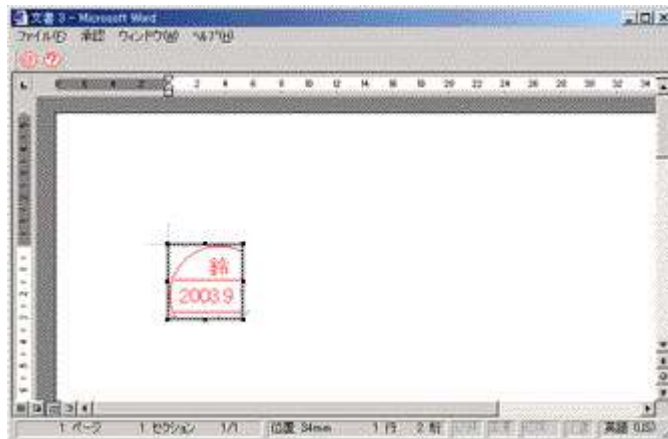
次は、押印時に入力した承認情報を確認します。

4. 押印情報の確認


日付印ペったんオブジェクトには押印情報が保持されています。この押印情報を確認する機能が日付印ペったんには備わっています。

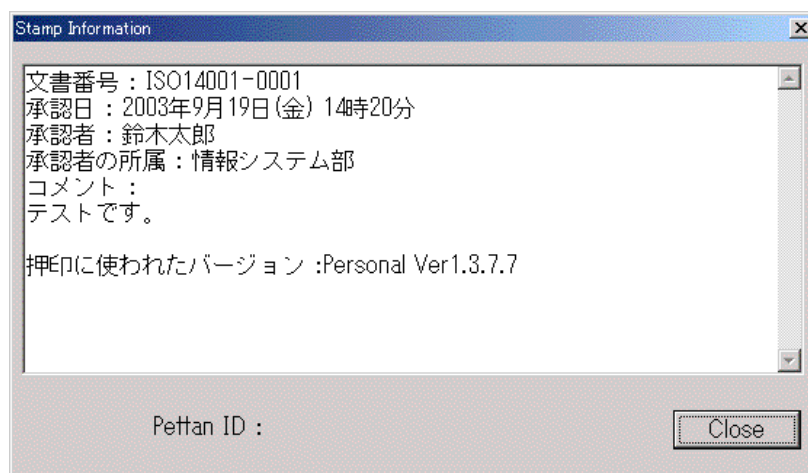
手順1) 日付印ペったんオブジェクトをダブルクリックし、アクティブにします。(図 4-1)

手順2) メニュー「承認」->「承認確認」を選択するかボタン  をクリックします。押印情報確認ダイアログが開き、押印時に入力した情報が確認できます。(図 4-2)



メニュー及びツールバーボタンは日付印ペッタンのものに入れ替わっています。

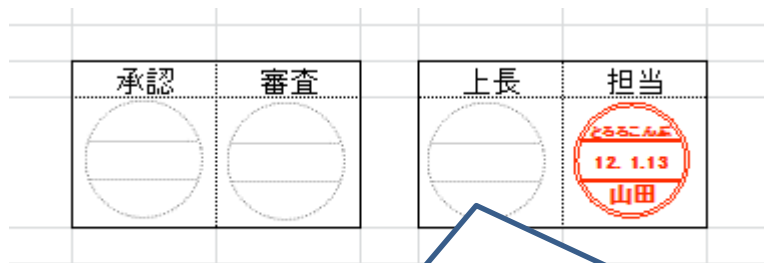
手順2) メニュー「承認」->「承認確認」を選択するかボタン  をクリックします。承認確認ダイアログが開き、押印情報が確認できます。



手順3) ボタン「Close」をクリックし、押印情報ダイアログを閉じ、ワードを終了します。

5. 未押印オブジェクトの挿入

議事録や報告書などに押印する場合、あらかじめ定型用紙にはんこオブジェクトを挿入しておくことで便利です。下の例は、MS-EXCEL の罫線描画機能を用いて、承認と審査の枠を作成し、枠の中に日付印ぺったんオブジェクトを挿入したものです。また、承認を受けていませんので、印影はグレーの破線で表現されています。



未押印オブジェクト

承認していない状態で日付印ぺったんが挿入されています。
未押印の場合、輪郭はグレーの破線表示になります。
押印する際は未押印オブジェクトをダブルクリックします。

この状態を作成するのは簡単です。日付印ぺったんを通常の方法で挿入し、押印しなければこの状態になります。押印してしまっている状態では日付印ぺったんオブジェクトは上の図のようにグレーの破線になっています。未押印オブジェクトをダブルクリックし、未押印オブジェクトをアクティブ化すれば、押印することができます。

このように定型様式にあらかじめ日付印ぺったんオブジェクトを挿入しておけば、押印場所の移動などに手間取ることがなくなります。

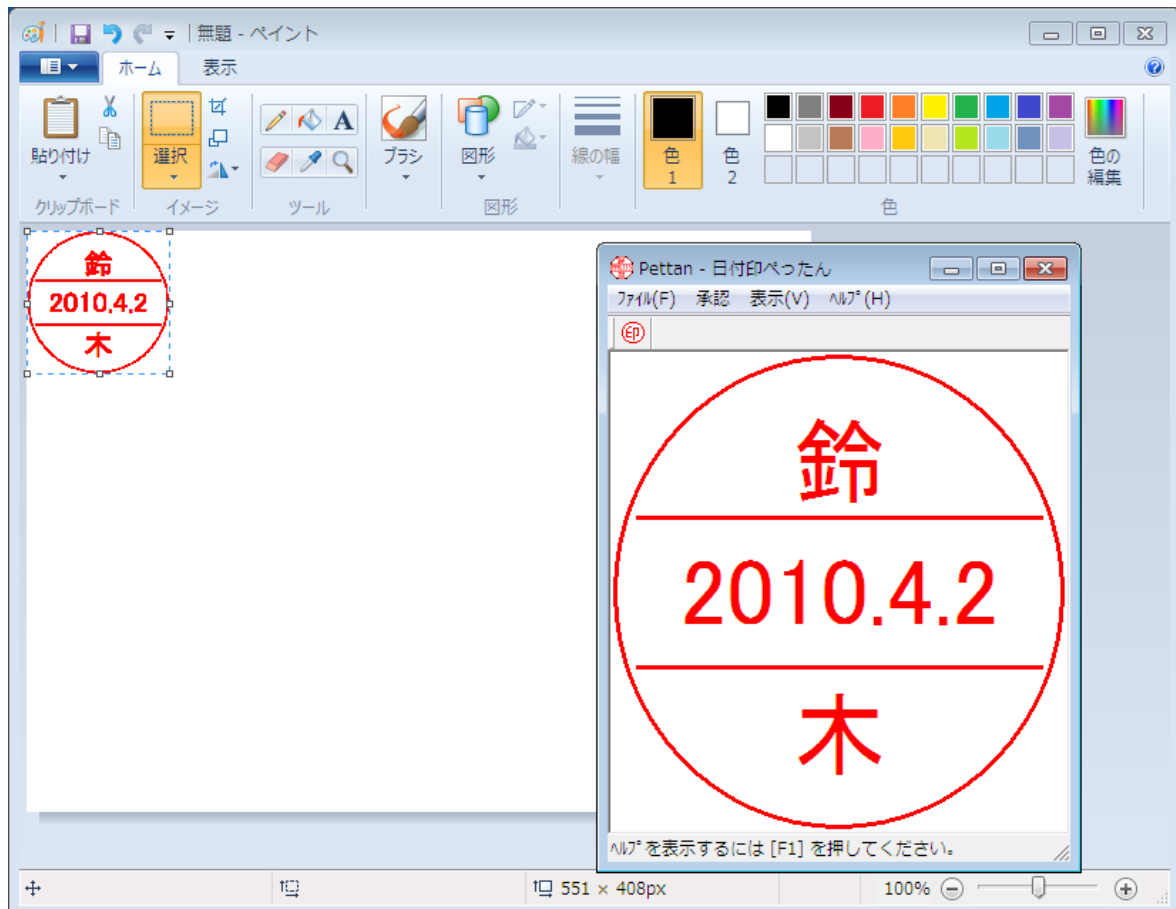
6. クリップボード転写

OLE に対応していないアプリケーションを用いて文書を編集している場合、オブジェクトの挿入機能がないため押印できません。

そのような場合には、クリップボード経由で印影イメージを文書に押印することができます。

日付印ぺったんを起動し、押印すれば印影イメージがクリップボードに転写されます。

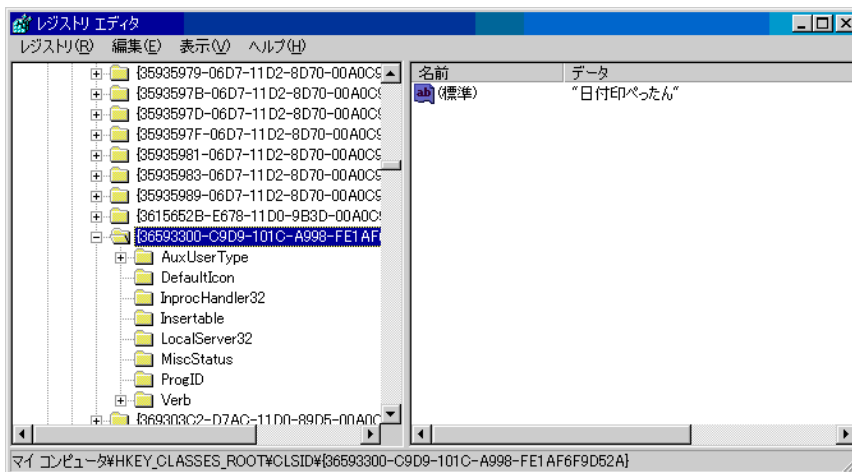
下の例は OLE に対応していないペイントに対してクリップボード経由で押印した例です。



Appendix A. レジストリに登録される日付印ぺったんオブジェクト

日付印ぺったんをインストールするとレジストリに次の2つが登録されます。
なお、アンインストールの起動によって自動的に削除されます。

- ① HKEY_CLASS_ROOT¥CLSID¥{36593300-C9D9-101C-A998-FE1AF6F9D52A}
- ② HKEY_CLASS_ROOT¥Petta.Document



C-1. レジストリエディタ

レジストリの内容を確認するにはレジストリエディタ (regedit.exe) を用います。



図 C-1 レジストリエディタを起動する

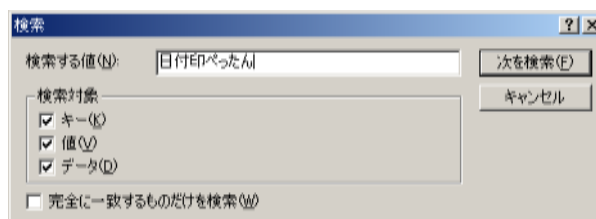


図 C-2 「日付印ぺったん」を検索する

手順0) 管理権限のあるユーザで Windows にログインします。

手順1) レジストリエディタ (regedit.exe) を起動します。(図 C-1)

スタートボタン → 「ファイル名を指定して実行」を選択し、regedit と入力し、OK ボタンをクリックします。レジストリエディタが起動されます。

おわり
とろろこんぶシステム工房